

# ホームランニュース

http://funabashi-gakudou-baseball.jp

## 発行 船橋市野球協会少年学童部

### 5市親善野球大会

### 船橋市二連覇

平成20年10月11日、鎌ヶ谷市制記念公園野球場をメイン会場として5市親善野球大会が開かれました。この大会は旧第二ブロックの親善を深めるために昭和53年に我孫子、市川、浦安、鎌ヶ谷、船橋の5市と当時の沼南町の5市1町親善大会として始まったものです(廣原鎌ヶ谷少年野球連盟会長の挨拶)。

開会式はあいにくの雨のなかで始まり、昨年度優勝の船橋A(今年度は南部支部選抜)チームを先頭にした入場行進のあと、船橋A主将

亀井謙二郎君(夏見台アタックス)から優勝旗の返還が行なわれました。

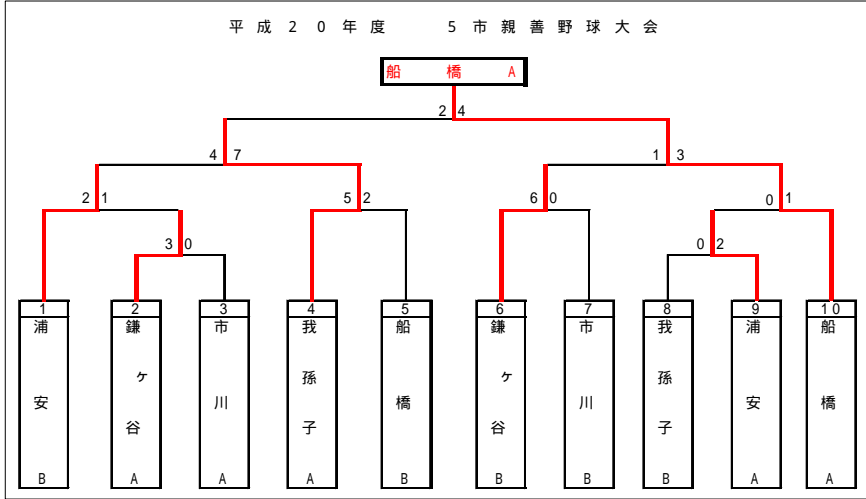
開会式終了後、市制記念公園球場と東野球場に別れ1回戦・2回戦が行なわれました。

初日の船橋勢は船橋A、船橋B(西部支部選抜)ともに東野球場へ移動して、2回戦からの戦いとなりました。我孫子Aチームと対戦した船橋Bチームは序盤の失点が響き初戦敗退でした。

我孫子Bに勝った浦

安Aとの対戦となった船橋Aは7回を終わり0対0でサドンデスに入りましたが、サヨナラ勝ちで13日の三回戦に駒を進めました。

13日は、東野球場で準決勝、決勝が行なわれましたが、船橋Aチームは準決勝、鎌ヶ谷Bチームを3対1で、決勝では我孫子Aチームを4対2で下し、昨年度の船橋A(三山スワローズ、薬田台BJ連合)に引き続き二連覇を達成しました。



## 空きペットボトルでAEDを 高瀬で回収試行

習志野台ワンパクス 秋元政一

先にお知らせしたとおり、今年度の新人大会期間中に高瀬運動広場(A面横、南部支部倉庫隣)において、ペットボトルの回収を行なっていました。これは(株)イキ・プランニングより、社会貢献の一環として、現在そのほとんどがごみとして処理されている各家庭から回収するペットボトルを回収し、その代金をAEDのリース代に充てると言う提案を受け、常任理事会としても、軌道に乗れば子供たちの工コ意識の向上と各チームにお願いしているAED負担金の低減になると判断し、試行として実施したのです。

11月3日現在の回収量は約500kg(500リットル換算2万5千本)となっています。今回の試行の結果を踏まえ、回収が軌道に乗ると判断した場合は収集方法を検討し、来年の春には再開したいと思

高円宮賜杯第28回全日本学童軟式野球大会出場報告

平成13年に続き二回目の全国大会出場を果たした、習志野台ワンパクスの秋元政一代表より、全国大会の報告及びお礼が届いております(掲載が大変遅くなり、申し訳ありません)。

8月9日午後3時30分、水戸市民球場で開会式が始まりました。前年優勝チームを先頭に沖縄から北海道までの各代表が順次入場してきます。各チームがホームプレート付近へ進むと、スタンドの応援団から大声援が送られます。我がチームは38番目に入場、行進する選手とチームにとって誇りに思う瞬間です。そして参加51チームが横一線に整列、全日本学童部軟式野球大会の開始です。

駐車場は青森、長崎といったナンバーのバスでつまり、正に全国大会が実感されます。翌10日8会場に分かれて試合開始、石川県・富来ますほ学童野球クラブと対戦しました。投手戦となり4回までお互いに無得点で進みましたが、5回三塁が三つ重なり1点先取され必死の追い上げも届かず、0対1初戦敗退となりました。悔いが残らないといえれば嘘です、悔しい敗戦でしたが、精一杯の戦いであつたと思います。

他チームの試合をいくつか見ましたが、やはり各地を代表するチームはそれぞれの特色と実力を備えたチームでした。敗れましたが、その一代表として参加できたことは、大きな喜びでした。この経験を今後のチーム運営と選手の育成に生かしていきたいと思っています。

今大会では、開会式から試合までチーム一丸となつて参加することができました。代表となつた選手にとっては、得がたい経験となり良い思い出が作れたと思います。5年生以下の選手が、自分たちも出場したいという目標を立ててくれれば有難いと思っています。

また、試合当日には関係者の皆様、OBの応援を多数頂きました。有難いものとチーム一同感謝しております。

最後になりましたが、今回の出場に際し、船橋市及び関係者の皆様、少年学童部役員の皆様、また各チーム皆様より多大なご支援を賜りました。心より御礼申し上げます。誠に有難う御座いました。



等を検討した上、来年の学童部総会で決定する予定でしたが、今回の世界的な不況により、廃ペットボトルの買い取り価格が大暴落したため一旦中断しましたが、新たな取り先を探し(AEDリース料への充当は難しいと思われませんが、せっかく回収が軌道に乗っているのに)来年の春には再開したいと思

建設以来約25年、風雨に耐えてきた高瀬運動広場の学童部の小屋の取り壊しが決まりました。

この小屋は第4代理事長の伴野さん(当時事業部長)が中古のプレハブを買い、役員総出で建てたものです。

しかし寄る年波には勝てず、去年の台風で屋根の一部が壊れ、今年の強風で小屋全体が危険な状態になったため、再建を考えていたところ、市で予算化が可能となったことを受けて決定したものです。

11月22日に常任理事により内部整理を行い、30日に解体作業を行いました。

今後、来年の3月末には新しいプレハブ小屋ができる予定となっています。

高瀬の小屋を解体しました

# 大会特集

## 夏季大会以降の大会を一挙掲載 (することになってしまいました)

### 友遊ボール大会

11月2日、第8回友遊ボール大会が高瀬C、D面において開催されました。今年は春の大会が天候不良のため中止になったので友遊ボールはこの開催だけでしたが、21クラブ、28チームが4つのブロックに分かれ熱戦を繰り広げました。各ブロックの優勝は夏見パワーズA、坪井バンデツツA、田喜野井ターキーズA、ホワイトピーストロングの4チームでした。子供たちはもとより、お母さん達がつとも盛り上がりつつあった大会でした。来年も春、秋の二大会の開催を予定しています。

### 第33回船橋市学童部野球選手権大会 夏季大会 ワンパクス春に続いて優勝

平成20年度船橋市長杯争奪第33回船橋市学童部野球選手権大会の決勝戦は、8月17日豊富球場A面で行なわれました。決勝戦は夏季大会Aリーグの決勝戦と同じ習志野台ワンパクスと小栗原ベアーズの戦いとなりました。ワンパクスの全国大会出場により、一週遅れの決勝戦でしたが、小栗原ベアーズは二回裏、この回先頭の五番植村航大



### 第16回 低学年大会

第16回低学年大会の決勝戦は9月23日豊富球場A面で行なわれました。決勝に進んだのは、準決勝戦坪井バンデツツを10対3で破った夏見台アタックスと、塚田クラブを10対8と逆転で勝った、ささなかポニーズでした。



君がフォアボールを選び、七番細田君のセンター前の当たりでホームに帰り、先制。三回裏にも先頭打者の穴澤君がフォアボールを選び、二番中本君のライト前ヒットで生還二点目をあげた。これに対しワンパクスも四回、ヒット、エラー、死球で二死満塁とし、八番金子君がフォアボールを選び、一点を返した。その裏、小栗原は内野安打と

試合は二回、四球と相手守備の乱れで3点を先取したアタックスが、四回にも2点を追加し、守っては、松本、坂本両投手がランナーを一人も出さないパーフェクトリレーで完勝しました。今大会の結果は、優勝、夏見台アタックス、準優勝、ささなかポニーズ、第3位は坪井バンデツツ、塚田クラブの二チームでした。

相手エラーで更に一点を追加、3対1とリードを伸ばした。6回ワンパクスは、六番前田君の死球と七番山中君のセンター前ヒットで二、三塁とし一死後、九番松本君のスクイズでまず一点、更に一番加瀬君の右中間二塁打で同点に追いついた。七回の裏小栗原は二死後、穴澤、野口君の連続ヒットで二、三塁とし一打サヨナラのチャンス、続く二番中本君がレフト左に鋭いライナーを放ち、サヨナラかと思われたが、ワンパクス六反君が超ファインプレー、倒れこみながらボールを好捕、延長戦にもつれ込みました。8回表、ワンパクスはエラーで出塁した六番前田君が三塁まで進み、九番松本君がこの日二つ目のスクイズを決め、この試合初めてリード、その裏小栗原の攻撃を三者凡退に抑え、苦しみながらも春季大会に続いての優勝を飾りました。準優勝は小栗原ベアーズ、三位は夏見台アタックス、西海ドラゴンズの2チームでした。

### 習志野台ワンパクス 主将北郷大生

夏の大会は絶対に勝ちたかったです。ワンパクスは、今夏の大会の優勝だけが無かったからです。ぼく達は、全国大会にも行くことができました。夏休みは壮行会、市長訪問、始球式などたくさん行事がありました。自主練習もたくさんやりました。全国大会では一回戦で負けちゃいましたが、すごい経験をすることが出来ました。夏の大会は、県大会で優勝したので、絶対負けたくありませんでした。マクドナルドのワッペンをしているのに、はずかしいプレイはできないと思います。なのに、反省する試合もたくさんありました。決勝戦ではピッチもありませんでしたが、チームみんなで優勝する事ができました。『ろつきん杯』でも、絶対、優勝したいです。



### 第三十一回新人大会 高郷スターズ二回目の優勝

平成20年度第31回新人大会決勝戦は、朝から雨が降ったり止んだりしている11月16日豊富球場で行なわれました。決勝に進んだのは、準決勝戦で春季Bリーグ優勝の海神スパローズを3対0で破り、今大会無失点の高郷スターズと、西海ドラゴンズを2対1の僅差で退けた田喜野井ターキーズの2チームでした。二回の裏高郷スターズはセンター前ヒットの五番日高君が盗塁等で3塁まで進み、六番廣瀬君の内野ゴロの間にホームイン、1点

を先制しました。その後両チーム投手が踏ん張り、五回の表まで得点を許さず緊迫したゲームとなりました。得点が欲しいターキーズは五回裏、四球で出塁した先頭バッター六番成田正憲君が、盗塁と犠打で三塁まで進み、八番北野君の内野ゴロの間に本塁生還、今大会高郷スターズから初得点を挙げました。このままサドンデスに入るかと思われましたが、六回表、スターズは安打、四球、エラーで一死満塁とし、八番中村君のレフト前安打で2点を追加し、その後もターキーズの守備

### 第三十二回秋季大会

秋季大会の決勝戦は、春季大会・夏季大会を制し、全日本学童部選手権に出場した習志野台ワンパクスと、『ろつきん杯』大会、準優勝の夏見台アタックスの対戦となりました。試合は三回裏、ワンパクスはエラーで出塁した七番青木君を二番の金子君のセンター前ヒットで返し先制。六回にも四死球で出塁したランナーをヒットと内野ゴロで返し2点追加、守っては夏見台アタ

クスを六回まで散発三安打に抑え、最終回には先頭ランナーにヒットを打たれたものの、併殺で切り抜け3対0で三年ぶり三回目の優勝を挙げました。夏見台アタックスは昨年が続いての連覇はならず準優勝、また第3位は習志野台赤トンボとみゆきファルコンズという結果でした。なお、春・夏・秋の三大会制覇は昭和57年の前原エイトマン以来29年ぶり二チーム目の快挙となりました。



### ろつきん杯を 振り返って 夏見台アタックス 森野 繁

千葉県大会で夏見台アタックスとして最高位の準優勝という立派な成績を収めることができました。選手たちの頑張り



の乱れに乗じこの回3得点を挙げ、4対1と突き放しました。天候の関係から時間制で行なったため、最終回の攻撃となった六回の裏、ターキーズは一番からの好打順でしたが三者凡退に終わり、高郷スターズが昨年の低学年大会に引き続き、27年ぶり三回目の優勝を飾りました。

勿論のことですが、少年野球の素晴らしい各大会を支えておられます関係者の皆様のおかげであると、感謝申し上げます。さて、本大会を通じて一番感じましたことは、対戦した各チームには必ずと言っていいほど、一人ないし二人くらい小学生とは思えないくらい立派な体をし、かつ優秀な選手がいるということでした。そのような中で勝機を見出せましたことは、守備力であったと自負しております。高瀬C、D(文句を言っているわけではありませんよ!)であれば間違いなく越えであったであろう飛球を少なくとも五本は阻止することができました。「打たせて捕る」ことができた大会であったと思います。春季大会初戦敗退、夏季大会ベスト4、そして結果的には秋季大会も準優勝と船橋市の大会を制することはできませんでしたが、チームの向かふ方針は間違っていないかと確認できました。選手、スタッフは県大会準優勝に決して満足しているわけではありませんが、主力であった選手たちは、後輩達に夢を託して卒業しますが、チームとしてこれからも精進して千葉県大会優勝を目標とし、そして全国大会出場を夢見て頑張りしたいと思います。